

GI-net 利用ガイドライン

2014年5月29日

GI-net は 60 拠点の接続を有し、多地点接続制御装置（以下「MCU」という）を利用しない双方向利用では 120 通りの使用が可能である。なお、双方向利用は端末接続番号を呼び出せば利用できる。3ヶ所以上が同時に会議に参加する場合には MCU を利用することになり、MCU 利用には予約が必須であるが、会議重複の場合に回線が不足する恐れがある場合は、優先度に従って割り当てられるので、MCU 利用ができない可能性があるものである。

以上のことから、GI-net 運用に係る共通の「GI-net 予約状況」を参考に、調整することが望まれる。以下に優先事項を記載する。

記

- ・三機関連携事業に係る各種会議（教育改革推進室会議等）
- ・三機関連携事業に係る教育カリキュラム（講演会等）
- ・三機関それぞれが機関内で実施する会議（高専機構の全体会議・校長会議・地区別会議等）

研究室間や高専2キャンパス間の打合せ等では、基本的に MCU を利用しない双方向でのやり取りを行うものとするが、上記の会議等で MCU を利用する場合には、双方向での打合せ途中であってもやり取りが強制的に中断される場合があるので、この点を念頭に、研究室・キャンパス間での利用が求められる。

以上のことから、本システム利用に係る共通の「GI-net 予約状況」を参照するとともに、緊急で上記の会議等で MCU 利用があることを予め踏まえて対応するものとする。なお、本システムは現時点で、国内のやり取り、とりわけ三機関内での利用が前提とされ、海外とは回線が結ばれていないことを付記する。